

年度	平成27年度								達成度の点検 (54321)
授業科目	総合管理技術		単位数	*2	必修	○	前期		
一般科目	専門科目	○	選必		選択		後期	○	
受講学生	学科	生産・物質化学工学専攻		学年	2年		通年		
担当教員	非常勤講師			氏名	柴田友禧、岩淵善弘、松野裕二、瀬川恭				
授業の目標概要	科学技術を管理し、組織活動を継続的に運用していくためには、業務全般を見渡した俯瞰的な把握・分析に基づく技術の改善、及び合理的なプロセスによる安全性の確保や外部環境負荷の低減に取り組む必要があり、そのための管理技術が強く求められる。この授業では、以上の管理技術を習得することを目的とする。								
教育目標	C,E	学習・到達目標		C-2, E-2					
事前学習・履修上の留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト「技術士制度における総合技術監理部門の技術体系」の対応部分の予習 ・総合管理技術の基礎知識を学習 ・学生自身の考え方を公表 ・事例の紹介後は学生の考え方をまとめてA4レポートで提出 								
日程	授業項目			評価内容					
第1週	1 総合管理技術の体系（瀬川）			科目の目的、授業実施方針が理解できる。					
第2週	2 経済性管理（松野） 2.1 事業企画と事業計画 2.2 工程管理			事業企画と事業計画が理解できる。 生産計画と生産統制が理解できる。					
第3週	2.3 品質管理			品質管理手法が理解できる。					
第4週	2.4 品質保証 <事例> 討議			品質保証の仕組みと活動が理解できる。					
第5週	2.5 設備管理 2.6 原価管理			設備計画と設備保全が理解できる。 標準原価と原価統制が理解できる。					
第6週	3 人的資源管理（岩淵） 3.1 人の行動と組織 3.2 労働関係法と労務管理 3.3 人的資源管理 3.4 人的資源開発			人の行動モデル、組織形態、リーダーシップが理解できる。 労働関係法の体系と労務管理が理解できる。 職務分析、雇用管理、人間関係管理が理解できる。 教育訓練管理、人事考課管理が理解できる。					
第7週	<事例>3-1 リーダーシップ			リーダーシップ持論に関するレポート提出					
第8週	4 情報管理（瀬川） 4.1 通常業務における情報管理 4.2 緊急時の情報管理			経営資源としての情報が理解できる。 緊急時の情報管理が理解できる。 課題についてのレポート提出					
第9週	4.3 ネットワーク社会における情報管理 4.4 情報ネットワーク			ネットワーク社会の特徴と情報管理が理解できる。 情報ネットワークが理解できる。 事例についてのレポート提出					
第10週	4.5 情報セキュリティ <事例> 討議			情報セキュリティが理解できる。					
第11週	5 安全管理（柴田） プロローグ 5.1 リスク管理 5.2 労働安全衛生管理			「日本の技術はどこから来たか」を理解する。 リスクの対応方針とリスクコミュニケーションが理解できる。 労働安全衛生法と未然防止活動の把握ができる。					

できない

後	第12週	5.3 危機管理（地震災害）	危機管理とシステム安全工学手法が理解できる。 防災・減災対策と大災害からの復興を考察する。	
期	第13週	6 社会環境管理（柴田） 6.1 環境と社会システム 環境問題とは何か（1）	持続可能な開発が理解できる。 人口、水、生物多様性問題が理解できる。	
	第14週	環境問題とは何か（2） 環境問題とは何か（3）	地球温暖化、農業・漁業問題が理解できる。 エネルギー、資源のトレード・オフを理解できる。	
	第15週	6.2 環境関連法と制度 （事例）	産業廃棄物、ISO14001が理解できる。 （事例）	
期末試験の回数（1回）				
評価方法 評価基準	<ul style="list-style-type: none"> 成績評価は試験結果（70%）、課題（30%）の比率で実施（詳細は第1回目の授業で説明） 企業内の様々な事例を基にした管理技術（マネジメント）基礎の理解度や、それらの事例についての各自の意見、発表および提出レポートについて採点し、成績評価は60点以上を合格とし、単位取得と認定する。 			
関連科目				
	書名	著者名	発行所	定価
教科書	技術士制度における総合技術 監理部門の技術体系(第2版)	(株) 三菱総合研究所スタッ フ	(社) 日本技術士 会	600円
参考書				
オフィスアワー（教員在室時間）				